

鳥取

YEG通信

TOTTORI
YOUNG
ENTREPRENEURS
GROUP

発行: 令和6年4月15日
鳥取商工会議所青年部
広報委員会

鳥取商工会議所青年部通信

4

■令和6年度
会長所信



鳥取商工会議所青年部
会長 高藤 軌晋
株式会社 オービット

春の風が優しく吹き抜ける中、新年度を迎え、皆さま方におかれましては新たな気持ちで一層ご活躍のことと存じます。鳥取商工会議所青年部の令和6年度会長を務めることになりました高藤軌晋と申します。1年間、よろしくお願いたします。

昨年、45周年を迎えた当会は、200人を超える会員が参加する青年経済団体として、いま地域からの大きな期待を寄せられています。さまざまな業種のメンバーが集い、それぞれの個性と能力を発揮できる組織へと成長し、ふるさと鳥取の商工業発展のため、より活気にあふれ、行動力に満ちた活動へ日々、取り組んでいます。

当会は昨年度から、今後5年間のビジョンに「CIVIC PRIDEーシビック・プライドー」を掲げ、市民の誇りを醸成し、日本唯一の賑わいを創造することを目指し、行動しています。

こうした中、今年度のスローガンは「Don't Think, Feel !!」50周年に向けて新たな決意と挑戦としました。時に理論や手法は重要ですが、頭で考

えるだけでなく、心で感じる思いを大切にしてほしい、そして日々の活動をさらに楽しんでほしい、という思いを込めました。まずは自分たちが楽しみ、自分たちが地域を愛することで、市民の誇りを醸成し、日本唯一の賑わいを興していきたいと思います。

45周年の大イベントを終えたばかりですが、青年経済人として歩みを止めることなく、新年度も新たな道を切り拓いていきたいと思います。

さらに節目の年に、もう1つ記念すべき出来事がありました。3月15日に日本商工会議所青年部の「第43回全国大会加賀能登の國いしかわ小松大会」が開催され、今年度のYEG大賞が発表されました。グランプリに輝いたのは、鳥取YEGのビジネス委員会が企画した「第2回高校生ビジネスプランコンテスト」です。

これは鳥取YEGが、次の一歩を踏み出す決意と挑戦し続ける気持ちを忘れず、地域の発展のために活動してきた成果の一つにほかなりません。鳥取という小さなまちからでも、全国のYEGの仲間たちに認められる事業を生み出すことができました。そして当会には、もっともつと大きなことができると感じています。

YEG大賞
グランプリ受賞

「加賀能登の國いしかわ小松大会」の中で、令和5年度のYEG大賞が発表され、鳥取YEGビジネス委員会の事業「第2回高校生ビジネスプランコンテスト」がグランプリに選ばれました。鳥取YEGがグランプリを受賞したのは初めてです。

YEG大賞は、全国417単会・ブロック・道府県連が取り組んだ事業のうち、地域に経済的発展と幸せをもたらしている事業に贈られる賞です。YEG活動に対する機運を高めるとともに、全国のYEG相互のつながりを感じ、組織のブランド力向上を図ることを目的に、毎年優れた事業が表彰されています。

鳥取YEGは平成29年度、30年度に準グランプリを受賞していましたが、グランプリには手が届いておらず、悲願の初受賞となりました。令和4年度までのビジョン「鳥取YEGの力」II「鳥取力」個々の「チカラ」を集結し、全国屈指の経済団体を目指す。の下で活動した成果が、今回の受賞につながりました。これまでの活動を礎に鳥取YEGの力をさらに高め、鳥取の商工業の発展、そして新たなビジョン「CIVIC PRIDE」の実現を目指していきます。

令和5年度ビジネス委員会
委員長 池上 裕樹



井上会長と木村麻子・日本YEG会長

日本YEG第43回全国大会
「加賀能登の國いしかわ小松大会」に参加

3月13日から17日かけて石川県で「第43回全国大会加賀能登の國いしかわ小松大会」が開催され鳥取YEGからは3月15日から16日の2日間、総勢25人が出席しました。大会には、日本YEG加盟の417単会などからオンラインを含め、1万人以上が参加していたということです。

元日に起こった能登半島地震からわずか75日、厳しい状況の被災地で準備が進められ、復興支援大会が実現しました。能登地区で予定されていた分科会は中止されましたが、大会テーマである「Power of Community ISHIKAWA」の通り、石川県連と全国のYEGの「組織の力」を感じさせる大会となりました。

15日には会員総会が開かれ、16日には記念式典と災害フォーラムが行われました。記念式典では、YEG大賞が発表され、鳥取YEG「第2回高校生ビジネスプランコンテスト」が初のグランプリを受賞しました。井上会長が表彰を受け、出席していた鳥取YEGのメンバー一同は歓喜に包まれました。

井上会長の年度のこの上ない締めくくりとなりました。

事業を企画・運営したビジネス委員会のメンバー、そして全ての会員と関係者に感謝申し上げます。

令和5年度
専務理事
田村 康悦

3月送り出し例会

令和6年3月13日（水）ホテルニューオータニで「卒会式」となる3月送り出し例会を開催しました。令和5年度、最後の例会には会員122人が集まり、卒会する7人を感謝の気持ちとともに見送りました。

通常例会では、井上会長がいさづに立ち、創立45周年の節目の1年を振り返りながら、思わず涙ぐむ場面もありました。3月は、新たに会員1人が仲間に加わり、今年度の入会者数は29人となりました。会員一丸となった増強活動で、期首目標の20人以上を上回ることができました。来年度以降も引き続き、会員増強に力を入れていきます。

その後の送り出し例会では、目玉イベントとなる卒会者からの「贈る言葉」がありました。われわれ現役会員に向けた最後のメッセージで、プレゼンや歌唱など、いずれも趣向を凝らした心に響く熱いメッセージでした。笑いあり、涙ありの1年間の締めくくりに相応しい例会となりました。

現役会員にとっては、卒会された方々の思いを胸に、創立50周年に向け、決意を新たにす機会でした。これからも商工業の発展のため、力を尽くしていきます。

令和5年度総務委員会 委員長 藤原成司



盛大に卒会者を見送る

新入会員



安澤 健太 君
(あんざわ けんた)
事業所名 居酒屋 玄
所属委員会 CIVIC PRIDE委員会

2024年度 鳥取商工会議所青年部組織表

出向理事 (中国ブロック) 西川 朋宏	専務理事 網尾 和亮	総務委員会	●永美祐輔、●荒川恵介、●大塩晋也、●國森清華 池本昌聡、梅實尚明、遠藤一博、大谷祐輝、大塚英子、木下 裕 小泉卓也、小林幸太郎、西面崇裕、霜村洋司、園健太郎、高藤軌晋 田中健一、田中将樹、田中雅士、原田直樹、樋口貴久、古都直記 吉谷勇一郎
	副会長 福田 弘幸	広報委員会	●大森 誠、●月森七海、●中尾 豪 池内哲也、石原優貴、上田真由美、上田良太、宇佐美孝太、大塚智尋 奥平智一、尾脇史行、河崎 勲、澤 隼人、波谷洋平、田中秀幸 □田中大喜、谷口里江、津村拓朗、鳥越力斗、林 大和、藤原直人 牧村 均、安田道人
	副会長 山根 真	対外交流特別委員会	●西川朋宏、●野村祥平
	副会長 富田 光政	会員交流委員会	●大深仁恵、●西尾利樹、●湯川 渉 大石敦司、岡田 悠、岡村 翔、奥 祥享、奥村道哉、小林真帆 嶋田耕治、菅原大介、杉内順一朗、高垣 弘、田中公照 田中直也、中江優二、中村康宏、西垣裕司、林慎太郎、藤原正弥 本城 誠、渡邊将史
	副会長 村田 浩一	政策提言委員会	●岸本雄司、●岩本慎司、●中山裕大 石原康司、上田雅穂、木村美紀、木村流雲、塩河桂太、杉浦健斗 竹中一浩、谷口勇也、民野泰穂、平尾都幸、藤原昌彦、松田寿一 松長武俊、峰臣一郎、森田晃正、森本嗣基、山下弥生 山根雅人
出向理事 (中国ブロック) 山根 真	副会長 太田 哲平	仕組み改善委員会	●下園裕樹、●尾前康寛、●山本明英 綾木康平、池内 健、大杉健二、奥本祐子、門脇総司、湖山 諒 高田晋士、田中 治、田村康悦、西尾篤人、西尾 仁、野田幸洋 信岡真曉、濱本圭佑、早島岳大、松山哲平、美作空高、村上春希 山田恭裕
	副会長 西川 征和	ビジネス活性化委員会	●岸本夕子、●盛田翔平、●三橋章弘 池上裕樹、磯部紗希、上田和宜、金子竜也、亀木理加、幸田伸一 河野敏和、清水 毅、高木健治郎、田中剛史、谷本銀河、中尾文則 中澤ひとみ、中野和育、□野藤 実、英 智哉、松島浩二、水口 達 森原 真、山本祐之、山本龍太
	副会長 松島新太郎	CIVIC PRIDE委員会	●西根健太、●石井裕也、●諸寄英久 安住真俊、新井宏圭、安澤健太、池内千絵、大塚裕之、長田 誠 金居洋子、家納東詩、岸本 龍、木下 優、木村駿介、古網有希 小林隆一、中原道広、中村 喬、久本幸広、平野加奈、松井奏子 三上正幸、森本 剛、森山宏志
	副会長 中崎 雄一	鳥取お城委員会	●河田圭太、●亀谷勇斗、●平家由紀 朝井純奈、南河雅裕、池田 崇、井上直樹、□江谷俊郎、岡村友輝 木下裕也、坂野経三郎、柴原洋司、谷本直也、田淵裕章、西垣和也 藤原成司、松田友佑、美作沙知、安田光宏、安本剛敏、山下智子 山田秀樹、山中慎也、山根光彦、山本義雄
	直前会長 井上 直樹		
会長 高藤 軌晋			